

令和3年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：十勝地区
- 2 事例報告学校名：広尾町立広尾小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 東 森 誠 記
- 4 キーワード：学校力向上

1 はじめに

広尾町立広尾小学校は、広尾の地に十勝開拓の拠点として住み始めた人々が、子弟の教育に夢を託した学校である。明治12年10月に十勝漁協組合が会所通りの民家を借り受け、広尾教育所と称し、寺子屋式の教育を行ったことから始まる。その後、明治14年7月5日、苦難の連続の中、住民の浄財をもって公立の「広尾学校」と称して開設された。

本校の児童数は219名で通常学級8学級、特別支援学級8学級合計16学級である。校下には、オスロ市より認定された「広尾サンランド」があり、十勝を代表する広尾港を抱え、漁業、林業、農業が盛んな町であり、学校教育に非常に熱心な地域である。職員は、初任段階が8名、2校目が6名と非常に若い集団である。

今年、学校力向上に関する総合実践事業の地域指定を受けるとともに、十勝管内小学校において、唯一、働き方改革の推進指定校に準ずる学校として取り組んでいる。

2 学校力向上の取組

(1) 若手教職員の授業力向上

若手職員の多い本校においては、若手の教師力向上が不可欠である。数年前から、十勝教育局の支援を受け、「出前講座」を年9回取り組むとともに、出前講座の前に指導主事より事前の指導を受けている。十勝教育局から90km離れた地であるのでZoomを用いて指導案作成の指導を一つの授業に2回受け、出前講座当日を迎える。その指導は、研修部長が中心となっている。この取組は、現行学習指導要領を正しく理解して授業を行う上で大変重要であり、授業のゴールイメージが、教師の感覚ではなく学習指導要領を根拠として捉えるための重要な機会になっている。

(2) 学力向上の取組

全国学力学習状況調査の結果により、本校の学力の課題が明確になった。学校力向上に関する総合事業地域指定校として中核校、大樹小学校と連携した取組を行っている。本校では、教務主任と学力向上担当が中心となって取り組んでいる。

① 「Bダッシュ作戦」 「Sunday算テ」

課題になっている観点や学習單元などを学力学習状況調査の問題やチャレンジテストで振り返るとともに、課題になっていることの基礎に当たる問題を用意して定着を図っている。

② 「サーティーカン (30漢)」

子どもの学びを主体的に行うために取り組んでいる。3週間後に行う漢字テストの問題を1週間に10題ずつ公表し、児童が学習方法を模索しながら取り組む。漢字学習で自分がどのような方法で取り組むと定着しやすいかを子どもたちが探していく取組である。子どもたちそれぞれの取組を行っていくがそのこと自体が難しい子どももいるので、子ども同士で交流したり、教師がアドバイスをしたりしている。回数を重ねるごとに平均点は向上している。

B ダッシュ作戦問題

用 14cmのテープを20回貼ります。
 2はるさんたちは、14cmは20回貼るのついて考えています。

問題文：14×20で170cmです。170cmは14mは、20回貼ると170cmです。14mが20回貼ることになるので14m×20です。
 20cmを1としたとき、14mの長さに何回貼るかを考えます。

図解：14mと20cmのテープの長さの比較と、テープを貼る回数（1回、2回）を示す図解。

【ヒント】「20cmを1としたとき、14mの長さに何回貼るかを考えます。14mは、20cmを1回貼ると14cm、20cmを2回貼ると28cm、30cmを貼ると30cmです。」

考え方のヒントを一つ付け加えて取り組ませる

(3) 体力向上の取組

全校で新体力テストに取り組み、課題となったことを重点に運動の場と時をつくっている。体力向上担当者と保体部が中心となり新体力テストの分析を行った。今年度は、瞬発力と持久力、走る運動が課題であった。

①体育の授業前に「ウォーミングアップ運動」

- ・体育の時間では、持久的な力を伸ばすために運動の最初にランニングや鬼ごっこなど、走る運動が組み込まれるようにしている

②休み時間に「休み時間チャレンジ」

- ・休み時間に子どもたちが取り組めるように、体育館に運動のポスターを貼っている。

③隙間時間に「ジャンプロード」

- ・子どもたちが自然と運動できる仕掛けを廊下で作っている。

(4) GIGAスクール構想の実現～児童のタブレット端末の活用状況

ブロードバンドで結ばれた端末を活用し、時間的、位置的な制約が少なくなった。また、下記の●については、今まで数少ない備品を順番待ちして使っていたが、タブレットを活用でき、個の願いに応じた学習に生かされている。

- チャット機能を使って自分の考えを述べ、他者の考えに触れる。
(6年社会)

- 児童アンケートをグーグルフォームで実施。(全学年)

- 保健室にいる児童に教室での授業の様子をライブ配信する。

- 写生会では、自分が描いているところを自分で写真を撮ってくる。

- 九九の暗唱練習をアプリ使用。(2年)

- 音楽プレイヤーを使って器楽練習。(5年)

- 写真、動画撮影機能を使って、草花の観察・振り子の実験など。(理科専科)

(5) 働き方改革の取組

働き方改革手引き書「ロード」に沿って取り組んでいる。11月現在8段階の5番目までの取組を行っている。働き方改革で職員のアイデアを聞く機会が多くあり、働き方改革に直結するもの、直結はしないが学校改善に役立つもの、学校運営上の課題が見え、新たな年度に向けての経営方針・教育課程編成方針などに盛り込んでいけるものが多くあった。

【短期目標の達成事項】10月末日までにできたこと

①業務のICT化

- ・打合せ、職員会議→OneNote(3年前から行っているものをバージョンアップ)の活用
- ・出欠黒板と欠席児童の対応報告→Microsoft Teamsを活用し、二重作業を一本化
- ・マチコミの活用→コロナの健康管理・保護者連絡・学校の様子を伝える(ブログ的活用)
- ・アンケート→Google Forms(保護者・職員・児童)マチコミメールでお願いし、回答

②時間外勤務の可視化

- ・出退勤システムの改修

③文書印刷

- ・事務補に依頼(印刷フォルダを作成)

④教材費の納入

- ・事務・事務補に依頼

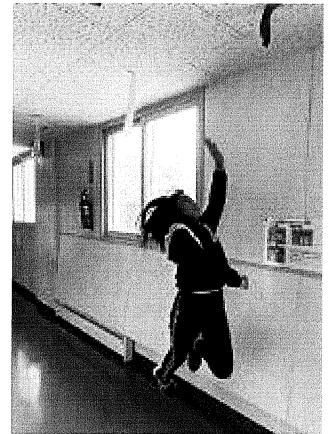
【中・長期目標の改善取り組み中】

- ①通知表の二期制
- ②日課の変更
- ③家庭訪問の面談化
- ④児童の登校時刻

3 おわりに

学校教育の成否は直接的に子どもたちに関わる私たち教職員に負うところが大きい。子どもたちが学ぶことの意義を実感できる環境を整え一人一人の資質・能力を確実に伸ばせるよう教職員の協働体制の下、意図的・計画的な質の高い教育活動を日々展開していきたい。

今日の運動		
10月 1時限	ウォーミングアップ 2時間目(準備体操)多 少の歩幅で歩幅を狭めて歩く 多歩幅のウォーミングアップ 準備体操	10月 10時限 ウォーミングアップ 準備体操
10月 2時限	ウォーミングアップ 準備体操	10月 11時限 ウォーミングアップ 準備体操



ジャンプロード